

埼玉県×C○REF 未来を拓く「学び」プロジェクト 平成28年度シンポジウム ～学び合いで未来を変える～

「未来を拓く『学び』プロジェクト」では、埼玉県教育委員会と東京大学 大学発教育支援コンソーシアム推進機構（C○REF）が研究連携し、「知識構成型ジグソー法」の手法を用いた協調学習の授業実践を通じて、アクティブ・ラーニングの捉え直しを行っている。
生徒の学び合い、主体的な学びによる生徒の変容で、埼玉の教育が大きく変化している。

※ 協調学習及び知識構成型ジグソー法とは

他者との関わりを通して多様な考えを生かしながら、各自が自分なりの理解を深めていける学習が協調学習です。本プロジェクトで採用している「知識構成型ジグソー法」は、あるテーマについて、いくつかの部品になる資料をグループに分かれて担当し、それぞれ理解したことを交換し合い、統合して答えを導く方法です。これにより、一人一人が自分なりに納得し、次に学びたいことを自分で見つけながら、未来の学びにつなげることができると期待しています。

日時

平成29年

入場無料

要申込み

1月14日(土)

10:20～16:40

※プログラムについては裏面を御覧ください

会場



戸田市文化会館 ホール他

(埼玉県戸田市上戸田4丁目8番1号)

※JR埼京線(各駅停車)戸田駅[東口]より 徒歩7分

<http://www.todacity-culturehall.jp/>



申込み

「未来を拓く『学び』プロジェクト」サイト
<https://ecsweb.center.spec.ed.jp/coref/>

※「平成28年度 シンポジウム」申込みフォームからお申し込みください

問合せ

埼玉県教育局県立学校部高校教育指導課 学びの改革担当

埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1

TEL 048-830-6625 FAX 048-830-4959

Eメール a6760-26@pref.saitama.lg.jp

【主催】埼玉県教育委員会
東京大学 大学発教育支援コンソーシアム推進機構(C○REF)

【プログラム】（受付 9：40～10：20）

10：20～10：30	開会行事 鼎談
10：30～11：20	
	合田 哲雄（文部科学省 初等中等教育局 教育課程課長） 白水 始（東京大学 大学発教育支援コンソーシアム推進機構 機構長） 羽田 邦弘（埼玉県教育局 県立学校部 高校教育指導課長） (休憩)
11：30～12：40	研究開発員代表者によるパネルディスカッション (昼食休憩)
13：40～16：40	教科部会等別ラウンドテーブル（RTⅠ・Ⅱ）※RT：ラウンドテーブル ○未来を拓く「学び」プロジェクトでの実践報告（教科別・主に高等学校） －国語、地理歴史、公民、数学、理科、保健体育、音楽、美術、書道、外国語 家庭、情報、農業、工業、商業、看護、福祉 ○新しい学びプロジェクトでの活動報告 －中学校・小学校

※昼食は、近くのレストラン等で各自お取りください。会場内での飲食は御遠慮ください。（ホワイエは可）
※終了後、懇親会を予定しています。申込みの際に出欠を御明記ください。会費（3,000円）は、当日会場にて申し受けます。

【平成28年度 教科部会 研究テーマ】（RTⅠ・Ⅱ 13：40～16：40）

RTⅠ（13：40-15：00）

部会	研究テーマ
公民	協調学習の手法を用いて、身の回りの課題や問題に対して主体的に考察し判断できるような生活者の視点を養い、主権者としての必要な能力と態度を育成する。
理科	ジグソー法における授業の評価(効果検証)、生徒がアクティブになる課題設定等
保健体育	実技体育の授業モデルの作成と実践 課題と対策について
音楽	新規授業案、教材開発、他教科との連携(ICT活用など)、反転学習
外国語	評価を意識した授業の設計
家庭	協調学習における効果検証等の検討
農業	「生徒が意欲的に学びを深める協調学習」
商業	「誰でもできる協調学習Ⅱと効果・検証」

RTⅡ（15：20-16：40）

部会	研究テーマ
国語	子供の学びを客観的にどう評価するのか
地理歴史	ICTを活用した協調学習の研究と既存授業案のアレンジ(個人・グループ)
数学	蓄積された教材アレンジから見てきた協調学習による生徒の変容について
美術	アンケート結果を踏まえた、取り組みやすい題材開発
書道	使いやすい教材の開発、日常生活と書
情報	1「ICT機器の活用と他教科との連携」2「協調学習の指導計画と評価の検討」3「教材の再開発」
工業	工業技術者として自ら考え判断し行動ができる生徒を育成する授業の研究
看護	事例をあげて協調学習を行う場合の研究
福祉	事例をあげて協調学習を行う場合の研究